

おおぶ映画祭2021 募集要項

【映画の可能性部門】 ※尺は問わない

- ・映画を通して、芸術本来のあり方「問題を提起する」ことができる作品
- ・映画を通して、生きる喜びや人々に気づいて欲しいメッセージが込められた作品
- ・制作時期は問いませんが時代を見据えたものが嬉しいです。2021年に3月19日までに完成見込みのものも可。

【ショート・ショート部門】 ※10分以内の作品(エンドクレジットを含む)

- ・完成後半年以内、もしくは2021年3月19日までに完成見込みのもの

【ショート部門】 ※45分以内の作品(エンドクレジットを含む)

- ・完成後半年以内、もしくは2021年3月19日までに完成見込みのもの

以上の3部門について、募集します。

いずれも応募資格に制限はありません。ジャンル(実写、アニメーション)は問いません。

審査段階で未完成でもその旨お知らせください。ただし、審査としてはその時点での可能性を審査させていただきます。

・監督または代表者は、映画祭当日(3月20日)にご来場ください。トークイベントや交流会を企画しております。
(交通費、宿泊を1名分、映画祭で負担いたします)

- ・完成された作品として捉えますので、みなさまの表現をあますことなく盛り込んでください。
- ・音声や画質等、抜け漏れの内容にお気をつけください。
- ・セレクトされた作品につきましては、技術面での改善をお願いする場合があります。
- ・応募時に未完成のものでも、3月頭に差し替えが可能であれば問題ありません。但し、オフライン編集のものでもその段階で審査対象になります。
- ・可能な範囲で拝見できる制作企画書がありましたら、そちらも添付お願いします。(特に未完成状態でご応募の場合は企画書も審査判断材料となる可能性もあります)

【応募から開催までのスケジュール】

12月～1月 審査

1月末 上映スケジュール決定、通知 ※応募者全員にメールにてご連絡致します。

3月20日(土)～21日(日) おおぶ映画祭2021 にてセレクト作品を上映

【応募形式】

- ・mov形式、MP4等の映像データ

【応募手数料】

- ・1作品につき1000円
- ・お支払いは下記銀行口座まで振込にてお願いします。

半田信用金庫 共和支店 普通預金 0756896

おおぶ映画祭運営事務局

※申し込み後、一週間以内にお振込み下さい。振込みが確認できない場合は無効とさせていただきます。

※領収書が必要な方は振込窓口で発行してもらって下さい

※申請書と口座が一致するようにしてください。名義が異なる場合はその旨ご連絡ください。

【応募方法】

おおぶ映画祭ホームページの作品応募フォームより各項目を入力して申込後、データを下記メールアドレスにお送りください。(企画書がある場合はメールに添付をお願い致します。)申込後一週間以内に応募手数料のお支払いをお願い致します。

☆データ送付先 おおぶ映画祭運営事務局 メールアドレス obu.filmfes@gmail.com

☆応募締切 2020年11月30日(月)

【注意事項】

- ・応募作品の制作にあたり、第三者が著作権を有する音楽、映像、写真、美術品などを使用する場合は、応募者の責任において著作権処理を行って下さい。
- ・作品の著作権は制作者に帰属しますが、事務局の運営上および後援団体において必要な複製、放送、公開配布する場合があります。

【審査について】

本映画祭は、「映画の可能性」を考え、議論してもらうことを大目的として、「明日からまた頑張ろう」「やっぱり映画ってこうでなきゃ」という感想以外にも、「自分が知らない世界、社会、事実があるのだ」という気づきを得てもらう場を提供すると同時に、制作者が「映画でなければ伝えられない」という止むに止まれず メッセージを盛り込んだ映画を上映し、共感を得、明日からの動きにつなげていただくことを使命とします。

この使命に則り、「映画のよさ」を本質的に伝えることにご共感いただいた監督の作品を大切にしたいと思えます。従って原則的にコンペという形式はとらない、という性質上、下記の視点で上映映画のセレクトを行います。

- ・時間が短いと思えるくらい、映画の世界に引き込まれるかどうか。
- ・技術的な視点で、不安なく視聴が続けられるものかどうか。
- ・あらゆる視点において、制作者が定めたテーマをあますことなく表現できているかどうか。
- ・映画づくり、という行為に対して誠実な姿勢を感じることができるかどうか。
- ・映像作品ではなく、映画であること。
※映画とは、制作者の思いが映像という表現に込められ、それが溢れ出ているものを指します。

作品とは別に、下記もセレクトにおける審査ポイントとして追加設定されています。ご了承ください。

- ・自身の作品だけでなく、映画そのものの普及に積極的にご尽力いただける制作者であろうとすること。
- ・ObuFF(おおぶ映画祭)に当日ご参加いただける制作者であろうとすること。
※プロデューサー、監督に限らず、出演者、どなたでもかまいません。
- ・ObuFFだけでなく、他の映画祭に対してもご協力、ご尽力いただけるような映画に対して愛をもった制作者であろうとすること。
- ・ObuFFだけでなく、自身の作品を多くの人に観てもらい、という姿勢をもった制作者であろうとすること。
- ・自身の作品を良し悪し問わず、議論の対象として受け入れる制作者であろうとすること。

以上を、セレクトにおける重要な審査ポイントとして定めます。